



# みさき 議会だより



第111号 平成30(2018)年 1月号

## 主な内容

- 町長・議長 新春対談 ..... 2～3
- 常任委員会で慎重審査 ..... 4
- 議員5人が一般質問 ..... 5～9
- 町民登壇 ..... 10

## 砂原集落 とんど祭り

# 「もっと元気な町づくり」を目指して



## ○子育て・少子化対策について

**司会** 新年おめでとうございます。

町長議長新春対談ということでお伺いします。

お二人共「もっと元気な町づくり」と言っておられますが、「子育て」「少子化対策」について、子どもが減り、奥部は高齢者ばかりの状況にあり、子育て世代が定住する環境整備や奥部の現状改善についてお聞きします。

**町長** 「元気な」ということは人が動くことだと思います。

地域の方々が子どもたちに関わっていただくことや、子どもたちを中心に学校や保育園を通じて行われる研修やレクリエーションなどの活動で人の動きが見えると、必要な政策や場所、施設が見えてきます。

子育て支援は大事ですが限界があり、若い人に町内に留まり生活

してもらい、教育、子育てを中心としたエリアや居住環境が整備される生活スタイルの中での子育ても大事かと思えます。生産活動や職場を持ち安定な生活下で子育てし、出身集落に関わりを持ってもらう町づくりになれば良いと思います。

**議長** 良い例として、大瀬第一土地区画整理組合が整備した土地が町内一番の子どもがいるエリアになっております。

居住場所の確保が問題の中で、行政主導で区画整理し、安価な宅地を迅速に供給することは、子育て世代を町内に留めるだけでなく町外からも住みたい人たちの流入にもなるので必要なことだと思います。

持論として保育園はできたので小学校校舎新築は最低限必要であり、三朝町も立派な学校ができた

から帰って来いと言える状況が示せるよう、子どもに対して一番強く政策を進めるべきと考えます。

**町長** 議長の言われることは大事なことだと思います。

大瀬の宅地を回ると町内の方が建てられる家が多いです。

町内で人が動いて新しい家庭ができることは良いことで、生活環境の場所として大瀬から森や牧までの辺りに集約できれば、子育て教育の場所も集まり、全体の町づくり計画もできていくと思います。

## ○老人福祉について

**司会** 喫緊の課題の老人福祉について、高齢者が非常に多くなる中、奥部は路線バスの便数が減り、オンデマンドで途中折り返しとなっています。

免許が無い高齢者はバス・タクシー・社協の送迎を利用するしかありません。また、免許証返納者には代替りの手段確保が必要だと考えますが。

**町長** 今後は免許証返納者が増えると思われ、支援の在り方、移動手段の確保は喫緊の課題です。

バスやタクシーは利用していただくことが重要で、どうしたら乗っていただけるか。また、安全に奥部の集落に行くには、小さなバスで集落公民館や家近くまで運ぶなど違った方法を考える必要があると思います。

路線バスやタクシーとの関係もありますが、高齢者が出かけられる日を調べたり、会員制も良いか

もしれないし、学校統合問題に関連してスクールバスの活用など、全体の交通手段を見直す時期にあります。

介護と一般生活とは仕組みの違いから分けて考えなければならないが、役場の中でチームを作り取り組みたいと思っています。

**議長** 竹田地域協議会で一年ほど試験運行したが利用者が少なく立ち消えに終わりました。

安全面等を考えると業者委託ですが、現実的には社協の送迎充実とタクシー助成の充実にあると思います。

社協にもう少し何らかの投資をして細かく対応してもらい、人と接する機会が増えることも重要で、元気な人はより元気に、と思います。

タクシーの共同利用も料金が抑えられるし、路線バスを外した検討も必要だと思います。

#### ○観光振興について

**司会** 三徳山と三朝温泉が日本遺産に指定されても観光客は33万人から35万人程度の推移です。

健康志向、滞在型の保養施設を検討すべきと思いますが、例えばフランスのラマルー・レ・バンの施設をモデルにするなどの方法はでしょうか。

**町長** ラマルー・レ・バンの温泉施設は見習うべきで、これからの観光は健康志向の町づくりだと思います。

三朝温泉病院にも関わっていただき、他所にない熱気浴と鈹泥湿布の二つの温泉療法を整形・リハ



ビリ等に活用できると思います。

滞在型人間ドック等も実施していただければ雇用も生まれ、まさに健康温泉地になっていくと思います。

加えて町民自らの手できれいな町にさせていただき、温かく迎えてくだされば、もう一度40万人にチャレンジできると思います。

**議長** どこにターゲットを絞るかが重要で、以前のような一泊二日の宴会型は無理だと思います。

団体客から療養型に考えを変えて、スポーツ関係のリハビリ施設誘致等も入れ、三朝温泉に行けば健康になるといったプラス要素を持った誘致を進めることで、旅館等の対応も変化するものと思います。

医療のリハビリ的な方向に考え方を持っていったほうが良いかなと思っています。

#### ○農業振興について

**司会** 本町の二本柱の内の農業は、主体の米がこれだけ値下がりし、来年から減反政策等価格補償も無くなるので、経営的に苦しいと考えます。

また、生産性の悪い奥部農地をどうするか、今後農地をどう維持していくのかお聞きします。

**町長** 三朝町の農業振興は、米と神倉大豆と直売用野菜を伸ばすべきと考えます。

米は評価が高くて良いことですが、思うほど後継者の関わりがなく、集落営農も難しくなる中では、「既存の農業法人を伸ばす」「地域でまとまりを持ってもらう」「グリーンサービス型のフォローをする」の三つが大事だと思います。

奥部は猪の被害等もあり、荒れた農地の復旧より、里の整備田をこれ以上荒らさないようにして、優良農地で生産性の高い農業をし、併せて販売強化しながら、三朝の米が美味しいと言ってもら



だけでなく、いかに農業者の所得を上げていくか、そして定年退職者がもう一度農業をやろうかと思えるように、農家と共に考えて行かなければならないと思います。

**議長** ふるさと納税の返礼品が4月から変わるので、米は生産者の顔を出して全国版で扱ったら一つの販路として良いかと思います。

**司会** 猪がたくさん捕れて猟師さんだけでは処理しきれないようですが、JAの処理施設もあり、ジビエ料理に力を入れ、三朝の名物にはできないでしょうか。

里では米作り、荒廃農地は木を植えて終わりではなく、猪が収入源になればと考えますがどうでしょう。

**議長** ジビエは牛や豚と違い食品衛生上は非常に難しい問題です。

新規事業者として投資する方法もあるかもしれないが、難しい点は数量安定性が無いことでしょうか。

**町長** 猪牧場の例では、肉が高すぎて料理に出せない状況もあり、町が取り組むには難しいようです。

#### ○町民が潤う町づくりについて

**司会** 最後に町民が潤う町づくりについて、一言お願いします。

**町長** 稼ぐ観光をして潤う町づくりをしていきたいと思います。

**議長** 成功例を広げ、みんなが潤う町づくりをしていきたいと思います。

〔司会〕  
遠藤勝太郎委員長

〔写真〕  
松原成利副委員長

### 牧田議員が総務大臣表彰を受賞



牧田武文議員は、この度、町村議会議員として地方自治の発展向上に寄与したとして、地方自治法施行70周年記念自治功労者総務大臣表彰を受けられました。(平成29年11月20日付)

### 福田議長が広域連合議長に就任



福田茂樹議長は、この度、鳥取県中部の1市4町で構成する鳥取中部ふるさと広域連合議会議長に就任されました。(平成29年12月1日付)

## 常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

### 総務教育常任委員会

#### 子育て健康課

##### 保育園児の広域入所措置費

(委員) 保育園児の広域入所措置費の予算負担内訳は。

(回答) 国が1/2、県が1/4、残りの1/4を町が負担します。

##### 賀茂保育園の指定管理者

(委員) 賀茂保育園の保育内容に関する保護者のアンケート結果は。

(回答) 回収率は83%で、「良い」、「どちらかと言えば良い」が52件で、「普通」が7件で、「どちらかと言えば悪い」、「悪い」の評価はありませんでした。

(委員) 指定管理者選定の審査会メンバーは。

(回答) 副町長、総務課長、財務課長、子育て健康課長です。

#### 教育総務課

##### 消火栓ホースの耐用年数

(委員) 小中学校に配置の消火栓

ホースの耐用年数は大丈夫か。

(回答) 耐用年数は10年となっています。

##### 学校プールのスタート台改修

(委員) 改修するスタート台の高さは。

(回答) 東小のプールは水深1m5cmで、スタート台の高さは35cmあり、基準の20cm～30cmに合わせるため下げます。西小、南小も基準を超えているので下げる改修を行います。

### 産業民生常任委員会

#### 農林課

##### 森林作業路網災害復旧対策事業 (補正273万円)

(委員) 災害復旧費のうち、受益者負担が1/3あるが、森林組合が負担するのか。

(回答) そのとおりです。

(委員) これは林道、作業道も該当か。

(回答) 対象は林業専用道と作業道ですが、作業道は通常の災害復旧費の該当になりませんので、県が新たに補助制度を作り、対応するもの。

#### 農業委員会事務局

##### 耕作放棄地の整理について (地目変更)

(委員) 地目変更費用は無料か?

(回答) 職権で行う制度ですので無料です。

#### 町民税務課

##### 中部ふるさと広域連合負担金 (補正130万円)

(委員) 滞納整理事務負担が増加した理由は。

(回答) 延滞金が3月末に納入されたが、当初予算では反映されていなかったため。

#### 建設水道課

##### 三徳川河川駐車場の復旧は

(委員) 今までと同じ工法で復旧するのか。

(回答) 原形復旧です。災害査定を受け、補正予算計上し、3月までの完成予定です。

#### 企画観光課

##### 地域拠点防災Wi-Fi整備事業 (160万円・財源更正)

(委員) 小鹿地区公民館・井土集落で携帯電話の電波が入らない状況だ。Wi-Fi整備より携帯が優先では。

(回答) ドコモは町内全域で利用出来るよう整備を行いました。調査依頼を行い、対応を要請したい。

## 人権問題

**問** 人権に関するアンケートの狙いは

**答** 年間を通して講座、講演会、学習など複数の学習機会を提供している

藤井

三朝における人権問題について、実態や取り組み、成果や課題、今我が町で人権に係る課題は今後、これこれの施策でさらに推進していき、広く町民に示すべき。

教育長

三朝町人権・同和教育推進5か年計画は、5年おきに意識調査を実施し、課題を分析し、5か年の推進計画を策定している。

藤井

アンケートの結果・公表について。

教育長

アンケート結果、公表、分析を含め、5か年計画を策定中であり、



藤井克孝議員

30年2月11日に開催する、第24回差別をなくする三朝町集会において結果を公表する。

## 学校統合

**問** 学校統合、教育について

**答** 早期に小学校を統合しなければならない

藤井

選挙前の公約で、小学校の統合はスピード感を持って推進していくと言われた。どのように計画し、どのような方向で進められるのか。

町長

小学校統合を進めるにおいて、所信表明で申し上げた3つの柱、小さくても元気な町づくり、対話と参画行政の推進、町政の見える化、現場主義の徹底を念頭に置きながら政策を進めていく。

藤井

前町長は、統合新小学校の校舎について、予算規模として35億という額を公言したが、町長も同じように考えているのか。

町長

学校整備については、町全体の教育の計画、義務教育のあり方等を考える中で検討していかなければならない問題だと思うので、整備については今のところ考えていない。

## 子育て

**問** 第1子から保育料を無料とすべき

**答** 国の動向並びに県内の状況も見ながら無償化を進めていきたい

藤井

三朝町の保育所では、第2子以降保育料を無料、県内の複数の自治体では、第1子から保育料を無料とする施策がとられている。三朝町では今後もこの方針を貫くお考えか。また、ひとり親家庭への対策は。

町長

ひとり親家庭への支援策は、国の手当金のほか、教育支援や生活支援のサービス等を実施し、今後も家庭環境に応じた支援体制を整えていく必要がある。

藤井

町が直接運営に当たっている

西小学童クラブについて、保護者から不平、不満が聞かれる。こういったことが解消できる学童保育の指定管理を考えるべきでは。

町長

学童クラブはあくまでも地域の皆さんが子どもたちを育てていくというスタンスが、三朝町にとっては一番ふさわしいと思っている。

## 積雪対応

**問** 冬の積雪対応と住民生活の安全安心確保への備えは万全か

**答** 県が行った除雪能力調査で判明した課題から体制整備を行い、市町村との連携により住民生活に支障が無いよう努める

### ○降雪時期の除雪問題点と、この冬の改善策は

松原

今年の正月過ぎの寒波到来で住民生活に支障が出た状況を踏まえ、積雪期には国県と連携を図り万全に備えるべきだが、初動体制等の基本的な部分での問題点と改善策はどうか。

町長

県では除雪能力の調査と体制の見直しを行った。

- ①市町村との交換除雪及び除雪委託により効率的な除雪を行う。
- ②広域的交通と緊急車両等の通行確保のため重点除雪区間を設定し、降雪見込み5～10cm以上での除雪出動基準とした。
- ③オペレーターの不足に対し、運転資格取得への支援を行っている。
- ④新たに県内86カ所にライブカメラを設置し、情報収集、積雪把握、情報提供を行う。
- ⑤全ての除雪機械にGPSを備え、位置把握により迅速な対応を行う。
- ⑥本町では新規オペレーターの育成や老朽化した除雪機械の更新で体制を整えている。

### ○町内や中部圏内の業者さんとの協力協定は

松原

一斉除雪が必要な場合に備え、町内や中部圏内の業者さんとの協力協定等は検討しているか。

町長

これまでも各業者さんと調整し、路線等も想定して準備を整えている。

### ○小中学校の臨時休校判断については安全第一に

松原

豪雪時は小中高校の多くが早めに臨時休校する中で本町は独自判断だったが、児童・生徒の安全が第一であり、無理をさせないようにすべきではないか。

教育長

- ①バス路線の運行状況を見て、学校長と教育長が協議判断しているが、他市町村では警報以上の予報や学校長の判断で休校するところがある。
- ②共稼ぎが多い中、休校は子どもだけで一日過ごす状況もあり、安全に登校する手段を学ばせることも大切と考える。
- ③バス路線状況で始業時間を遅らせるなどしており、保護者や地域の協力で子どもたちの安全を見守ってほしい。

### ○三徳の大門坂の仮設道路の積雪対応は

松原

10月に発生した三徳の大門坂の土砂崩れ現場は仮復旧されているが、仮設道路が急坂で狭く、融雪装置もない状況にあり、県道ではあるが今季冬の通行の安全をどのように確保するのか。

町長

道路管理者の鳥取県に確認したところ通行の安全は確保するとのこと。

- ①鳥取側の消雪の水を迂回路に誘導する。
- ②低温時には凍結防止剤の散布を行う。
- ③積雪状況を監視し、除雪等を実施する。



松原成利議員

### ○三徳の大門坂の復旧計画は住民本位で

松原

復旧計画においては、国立公園、県立公園等の制約を受ける地域だが、「住民本位」、「観光客本位」の観点で各方面との調整を図るべきと考えるがどうか。

町長

国の災害復旧事業制度を活用することとして、来年1月の災害査定を経て、文化庁など関係機関との協議や地元関係者との調整が整い次第、早急に着手し、できれば来年冬までの工事完成を目指す。

住民の生活に関することについては、きちっと対応すべきと思っている。

### ○除雪困難な町道には融雪装置設置を推進すべきでは

松原

諸事情により住民の皆さん自ら除雪対応している町道は、高齢化で将来にわたる対応が困難であり、消雪パイプの設置を進めるべきと考えるがどうか。

町長

現在は133路線、52kmを7台の除雪車と16名の職員で除雪している。

設置要望については、容易に水が確保できる場所は、将来的な管理なども含めて関係集落と協議を行ってみたい。

町づくり  
これからの

**問** 今後の町運営は

**答** 町政の見える化と現場主義の徹底

## ○停滞と改革

**石田**

「停滞」と「改革」、あなたはどちらがいいですか。町長が選挙公報・討議資料で町民に問いかけられていた言葉だ。果たして、今までの町政は停滞していたか。観光産業の振興では、日本遺産登録・国立公園指定等、地域再建では旧中部ダム建設中止・ウラン残土加工資源・医療センター存続問題解決など、停滞どころか振興している。

**町長**

停滞とか改革とかいったときには、町民の目線で見たときに、どういうふうにしてもそれらが長く続くと、当たり前の事が当たり前で見えなくなって、停滞みたいなイメージがあると。改革については皆さんが前を向いて新しい町を作りましょうという、そういう一つのアピールで申し上げた事であって、これまでの町政を批判したものではないというのはご理解をいただきたい。

## ○町政の見える化

**石田**

情報公開と予算の執行の決定などを町民に示していきたいとは。

**町長**

町民が参加する。町民が主役の町づくりを進める上で必要となる情報を示すもので、公開する

事で、町民の目線を意識しながら、行政サービスや行政改革を進めていきたいと考えている。

**石田**

町内企業、町外から仕事に来ている方々に、三朝町について意見を聞く場を作っていただきたい。

**町長**

とても大事なことだと思う。これから私と職員も含め、町内企業に出かけ広く意見交換をし、事業を見させて貰えたらと思っている。

## ○教育・子育て

**石田**

南小学校を4月から西小学校に持って行っていただきたい。竹田地区の方から、住む人が居なくなる、このままでは維持は出来ないとされた。

**町長**

いろんな関わりがありますので、時期は限定できないが、ただ、思いは一緒。そういう方向に向かって統合については進めていきたいと思う。

## ○経済振興対策

**石田**

町、三朝温泉などの宣伝等は、それなりにされてきていると思う。しかし地域住民の関わりが少なくなっている。町内の人たちにもう一度、観光に関わって貰う事



石田恭二議員

.....  
が先決だと思うが。

**町長**

とても大事な事だと思う。人に動いて貰わない事にはどうしようもない事であり、その動きを私たちが支援をしていったり、協力をしていったり、そういう関わりでないと成長はしないと思う。努力していくので、一緒になって地域の盛り上げについてご協力願えればと思う。

## ○若い世代を支えるには

**石田**

町の柱となる町内の若者に、定住してもらう為の対策を重点とし、政策を考えるべきだと思うが。

**町長**

総合的な観点で目標を定めた施策として整理しながら、本町の若者が町外に出られたとしても、ふるさとに戻りたい、戻りやすいような町づくりに加え、居住地として若い世代に選ばれるような町づくりを考えている。

## 観光戦略

**問** リーダーシップ発揮で観光戦略を

**答** 健康温泉リゾートを目指したい

○観光資源創出で多様なニーズに応える観光メニューの提供を

山口

町内みんなが参画する全町観光地化で多様な観光メニューの提供が必要。

町長

三朝温泉の魅力を再認識し、情報発信が必要と考える。

その上で健康温泉リゾートを目指していきたい。

○活性化には強力なリーダーシップと多様な意見集約が不可欠だ

山口

他の成功例では強力なリーダーの存在が必ずあり、強力なリーダーシップの下で、三朝町の活性化について色々な意見や提言をする人を集めて新組織を作っては。

町長

三朝町・三朝温泉をリーダー

シップをもってリードする人材を作ることは非常に大事だ。

各方面から多様な意見を聞くための連携も大切だ。

○三朝版DMO（観光地域推進機構）を作っては

山口

観光3団体や農林業者など多様な構成員で新たな観光組織を作り経験豊富なリーダーを据えてはどうか。

町長

中部のDMOは設置後2、3年で、軌道に乗りつつあり、当面はそこを中心にと考える。

三朝に機運が育てば組織作りのきっかけとしたい。

○町長のリーダーシップで三朝町・三朝温泉の観光メニューを

山口

長年三朝町の観光施策に従事した町長の強力なリーダーシッ



山口 博議員

プで三朝町・三朝温泉の活性化、新観光メニュー作りに取り組みたい。

町長

町長としてリーダーシップをとりながら進めていきたい。

さらには外部人材からのアドバイスをもらうことも一つの方法と考える。

## 小学校統合

**問** 統合に当たっては新校舎を建てるのか

**答** 統合を急ぎ、校舎建設は別に考えていく

○小学校統合に当たって新校舎はどうするのか

山口

町長は統合に当たって新校舎をどのように考えているのか。

町長

新校舎を建てることは考えず、とにかく統合を急がなければならないと考えている。

○新校舎建設はいずれ必要でありどのように考えているのか

山口

小中学校とも建築後50年以上経過しており、いずれ建築が必要であるが、どのように考えているか。

町長

統合と同時並行で研究していく。

○西小と南小の2段階統合にしてはどうか

山口

南小の来年の新生が1、2人で危機的な状況にあり、かつて提案のあった西小と南小だけの2段階統合を考えては。

教育長

あくまでも3小学校同時統合が最善の方法と考えている。

○教育委員会は必要校舎のシミュレーションを

山口

教育大綱から平成30年統合の

文言を削除し、統合時期は不明ではあるが、新校舎はどうあるべきかシミュレーションしておくことが必要だ。

教育長

将来の教育環境整備を関係課と協議、研究していく。

○三朝町義務教育像を見直すのか

山口

町長はビジョンを考えているが、既存の三朝町の教育大綱を見直すのか。

町長

町長として三朝町の子どもたちの教育については、教育大綱のもとで進めていく。

## 今後4年間の町政

**問** 小学校統合は平成31年4月の統合に向けて、準備するべき。

**答** 教育委員会の経過を聞きながら、進めていきたい。



清水成真議員

### ○三朝町の人口減少について

**清水**

人口減少対策についての考え方は？

**町長**

日本の人口全体が減少傾向にある中で、町の人口減少を止めることはなかなか難しいが、施策によっては緩和できると考えている。

### ○今後の町づくりは

**清水**

町長の今後の町づくりの考え方は？

**町長**

人口が減少しても安心して豊かに暮らすことの出来る町づくり。そして、若い人に住んでいただける町、若い人に選ばれる町をつくっていきたい。

### ○人口減少の対策は？

**清水**

では、具体的な施策については。

**町長**

保育料の無償化、通学費の助成、医療費の助成など、現在町が取り組んでいる支援について、より効果のある仕組みに見直しをしていきたい。

### ○住んでみたい町づくりは

**清水**

今後の環境作りは？

**町長**

子育て世代のニーズをくみ取り、雇用対策、魅力ある教育環境の整備などが、この世代を引きつけるカギとなるのではないかと考えている

### ○仕事を作っていくという考え方

**清水**

町民の方は、「仕事がないから、

若い人が帰ってこない」と言う人が多い。今後は「仕事をつくっていく。そして新しい産業をつくっていく。」という考え方が良いのではないか。

**町長**

その通りだと思います。

### ○小学校の統合にについて

**清水**

統合問題と小学校建設を分けて考える必要がある。統合についてはどう考えているのか。

**町長**

児童数が減少し、学校運営に支障を来しているということで統合は避けて通れないと考えている。

### ○どのような教育を進めるか

**清水**

統合後の学校教育については、どのように考えているのか。

**町長**

保育園から中学校までの教育期間に確かな学力、豊かな人間性、心身の健康と体力をバランス良く育て、国際社会への対応、特色ある教育プログラムも取り入れた教育を進めたいと考えている。

### ○「教育の町みささビジョン」とは

**清水**

現在、教育大綱、三朝町教育ビジョンがあるが、それとの違いは。

**町長**

学校を統合するのであれば、ビジョンを示すべきだという話を地域の方からいただいたので、そのことを申し上げた。

### ○統合の時期について

**清水**

小学校統合は平成31年4月の統合に向けて、準備するべきと考える。

**町長**

教育委員会の経過を聞きながら、進めていきたい。

### ○校舎について

**清水**

小学校校舎新築については、どのように考えているのか。

**町長**

統合が終わった後に、全体的な教育環境、中学校の環境も含めたものはつくっていかないとはいえないと思っている。

### ○建設の時期について

**清水**

建設についても、急ぐ必要があると考えるが。

**町長**

町の財政状況を見て、中途半端なものではなく、三朝町の教育の柱を整理してそれを踏まえて建物を造っていきたい。

**清水**

今まで、3年間、教育委員会は色々と議論して「西小学校改築では、ダメだ」という結論を出している。」そのような経過も聞いていただき、建設を早めていただきたい。

**町長**

私は建設については、今のところ白紙だ。ただ、統合については優先して進めていきたい。学校整備については別な視点で計画を作っていくと考えている。

※その他、観光対策についての質問を致しました。



三朝町合谷  
津村公憲

### 議会傍聴に思う

12月定例会の一般質問を傍聴する機会があり議場へと参りましたが、傍聴者が少ない事に驚きを感じました。しかし、考えてみれば現在では、CATV 放映で質問者及び町当局の応答発言と、表情までも明快に見ることが出来ることから、わざわざ議場まで行かなくても、考える町民が多いのではないかと思いましたが、やはりTVの画面では見えない、議場全体の雰囲気、また、質疑応答者の表情等、その場で見聞きする新鮮さは違うなど、改めて感じました。

ただ残念ながら、当日のマイクの調子が悪かったのか、質問者の声が聞きづらく、内容が良く聞き取れませんでした。後日のTV放映では、はっきり聞き取ることが出来ました。

今般の、傍聴で感じた事です、質問に対する答弁に具体的なものが見えてこない。これは、財政面、他機関との協議調整等々検討を要するからだとは思いますが、もう少し、抽象的でなく、分かりやすく、早期に実施できる草案等を示していただきたいと感じました。

また、一問一答での当局の答弁に対し、即、妥協納得するのではなく、問題核心への追及質問をしていただきたいと思いました。何となく時間が経過してしまったように感じました。

今後とも、町民の負託に答える議会運営と、町民の安心、安全な暮らしと町づくりのため、一層の御活躍を期待いたします。

### 【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	結果
<b>町長提出議案名</b>		
<b>(12月定例会)</b>		
82	平成29年度三朝町一般会計補正予算(第4号)	可決
83	平成29年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
84	平成29年度三朝町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決
85	平成29年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
86	平成29年度三朝町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
87	平成29年度三朝町集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決
88	平成29年度三朝町水道事業会計補正予算(第3号)	可決
89	三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
90	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決
91	三朝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
92	賀茂保育園の指定管理者の指定について	可決
93	平成29年度三朝町一般会計補正予算(第5号)	可決
94	平成29年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算(第1号)	可決
95	三朝町基金条例の一部改正について	
<b>議員提出議案名</b>		
議5	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の継続等に関する意見書	可決
議6	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決

※上記の議案はいずれも全会一致で可決

【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
県道鳥取鹿野倉吉線の沿道における街灯の必要性に係る調査についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	趣旨採択	現在、町当局も当該路線の整備要望をしており、県で歩道整備事業を実施している。
「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ、組織犯罪処罰法の改正に係る意見書の提出についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	不採択	法案審議時に各方面から多くの懸念が示されたが、法制定後何ら懸念される事態は生じていない。
公文書の適切な管理運用を求める意見書の提出についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	趣旨採択	現在政府において文書管理に関する法改正が進行中である。

おわりに  
ちよひつひつ

最近読んだある本より「人口減少日本でこれから起こること」

・2020年「女性の半数が50歳越え」  
 ・2024年「全国民の3人に1人が65歳以上」  
 ・2033年「3戸に1戸が空き家に」  
 ・2040年「自治体の半数が消滅」  
 ・2042年「高齢者がピークを迎える」  
 これらの問題が起こる可能性が極めて高いとのこと。実際に統計的な数字から割り出してあり、全国の自治体のすべてにあてはまることではないと思われるが、三朝町はこれらの問題にどう対処していくべきか、首長・議会はもとより職員・町民が一体となつての発想が出来ればおのずと結果もついてくるのではないのか。時代の流れを的確に捉え、新たな発想で対応できる自治体でなければならない。(松原茂隆記)

発行責任者 福田 茂樹  
 編集 長 福田 茂樹  
 議会広報常任委員会  
 委員長 遠藤 勝太郎  
 委員 長 松原 成利  
 委員 長 松原 成利  
 委員 長 清原 成利  
 委員 長 吉田 成明  
 委員 長 松原 茂隆